

# 日本語母語話者が用いるあいづち表現 「そうですか」と「そうなんですか」

—違いと用法について—

吉 澤 佳 奈

## 1 はじめに

### 1.1 テーマ選定のきっかけ

日本語初級学習者と SNS ツールである LINE で会話をしているとき、「そうなんですか」を使うことを躊躇ったことがあった。初級教科書の内容から、「そうですか」しか習っていないだろうと考えたためだったが、会話の流れでは「そうですか」では不自然であった。そのため、これらの2つの言葉には違いがあるのではないかと考えた。

この2語には確実に違いがあり、日本語学習者が使うことができれば便利な表現だと考えるため、日本語学習者が使えるように教授法も考えたい。

### 1.2 目的

日本語母語話者の話し言葉における「そうですか」と「そうなんですか」に使用頻度や使用場面でどのような違いがあるのか調査する。そして日本語学習者にどのように教えるべきか考える。

## 2 先行研究

仁田 (2003) は「のだ」を用いた文では、その文の内容がすでに定まったものであるということが表される。そのため、話し手が発話時に決定した意志を述べる場合や、発話時の一時的な感情を述べる場合などは、「のだ」は用いられない。」(p.198) とし、庵 (2012) は「のだ」と疑問文の関係について「前提を持つ疑問文では「のだ」が使われ、そうでない疑問文では使われない。」(p.243) としている。

また、「のか」疑問文について仁田 (2003) は「「のか」疑問文は、説明のモダリティを表す「のだ」が疑問化されたものである。」(p.32) とした上で、①疑問のスコープを広げる用法と②説明の用法がある、としている。①疑問のスコープを広げる用法では、真偽疑問文の場合は必須補語以外の情報をスコープに入れる (=前提とする) ために「のか」疑問文が用いられているとしている。そして、補充疑問文の場合は疑問詞自体がフォーカスを明示するの

で、スコープを広げる「のか」の役割はそれほど重要ではない、としている。②説明の用法では、真偽疑問文の場合は話し手に理解が正しいかどうかを確認する働きを持ち、補充疑問文の場合は情報の欠落を補うことを話し手に求める働きを持つとしている。

### 3 仮説

「そうなんですか」は話し手が言ったことに対して①情報を求める、また②聞き手の理解が正しいかを確かめるあいづち表現である。

### 4 手順

①教科書分析によって現在の教授法を調査する。詳細は5章にまとめる。

②日本語母語話者の日常会話について会話コーパスを用いて「そうですか」「そうなんですか」で検索し、該当する表現を抽出し調査する。詳細は6章にまとめる。

### 5 日本語教科書での「そうですか」「そうなんですか」の扱い

「そうですか」「そうなんですか」について日本語教科書での扱いの調査を行った。

#### 5.1 方法

日本女子大学内の日本語教員養成講座研究室図書室にある、2008年以降に出版された初級教科書を対象に調査を行った。使用教科書は表1にまとめた。

教科書の文型、会話の中でこの二つの表現が使われているかどうかを調べた。

#### 5.2 結果

以下、対象とした7冊の教科書をまとめる。

表 1 教科書分析に使用した教科書一覧

出版年	教科書名	略称
2008	『初級日本語げんきⅠ』 坂野永理・大野裕・坂根庸子・品川恭子／The Japan Times	『げんき』
2008・2009	『J.Bridge ジェイ・ブリッジ for Beginners Vol.1』 小山悟 (2009) 凡人社 『J.Bridge ジェイ・ブリッジ for Beginners Vol.2』 小山悟 (2008) 凡人社	『ジェイ・ブリッジ』
2010	『みんなの日本語初級Ⅰ本冊』『みんなの日本語初級Ⅱ本冊』 株式会社スリーエーネットワーク／スリーエーネットワーク	『みんな日』
2012	『日本語初級1 大地』『日本語初級2 大地』 山崎佳子・石井怜子・佐々木薫・高橋美和子・町田恵子／スリーエーネットワーク	『大地』
2012	『初級日本語 あゆみ vol.1』 関西外語専門学校 (島多麻美・御崎規子・吉川由理子) ／凡人社	『あゆみ』
2013	『文化初級日本語Ⅰ』『文化初級日本語Ⅱ』 文化日本語専門学校 日本語科／凡人社	『文化』
2015	[NEJ] : A New Approach to Elementary Japanese—テーマで学ぶ基礎日本語— [vol.1] [NEJ] : A New Approach to Elementary Japanese—テーマで学ぶ基礎日本語— [vol.2] 西口光一／くろしお出版	『NEJ』

・そうですか

すべての教科書で扱われていた。比較的初めの課で、会話のあいづちとして教えられている。

・そうなんですか

7冊中2冊の教科書で扱われていた。

『文化初級日本語Ⅰ』『文化初級日本語Ⅱ』

・そうなんですか

第18課。〈勧誘「ませんか」、状況説明「んですが」、勧誘「ましょう」伝聞「そうです」、「でしょうか」「だろうと思います」、「と言っていました」〉

練習 b (絵を見て話す練習)「○○そうですよ (伝聞)」への返答として扱われている。

『J.Bridge ジェイ・ブリッジ for Beginners Vol.2』

・そうなんですか

第2課 〈「～んです」、「～んですか」〉

イントロダクション「出会い」初対面の会話。

### 5.3 考察

2冊とも初級の教科書の下巻で扱われていた。『文化』では話し手の伝聞の内容に対する返答として扱われ、『ジェイ・ブリッジ』では、本教科書が力を入れる、日本語母語話者の

ような会話での用法だった。

『文化』では、話し手が、聞き手は知らないだろうと考えて伝聞の内容を発しているとすれば、「新情報への驚きを表す」表現として扱われていると考えられる。『ジェイ・ブリッジ』では会話例として用いられているので、単純にあいづち表現として扱われていると考えた。

2冊の教科書では場面設定が異なり、共通性がないため「そうなんですか」は教授法が確立されていないと考えられる。しかし、初級の教科書でも採用されているものがあることより、初級の学習者に教えることは不可能ではないとされていると考えた。

#### 5.4 結論

「そうですか」は初級の初めの課であいづち表現として扱われ、「そうなんですか」は扱う教科書が少なく教授法が確立されていないと考えられる。

## 6 コーパスによる調査の方法

「そうですか」「そうなんですか」について、日本語母語話者の日常会話における使用状況調査を行った。

用いたコーパスは『多言語の日本語学習者横断コーパス (IJAS)』の日本語母語話者部分、『名大会話コーパス』、『BTSJ] による日本語話し言葉コーパス』である。『BTSJ] による日本語話し言葉コーパス』は「初対面と友人同士の女性の雑談」「親しい同性友人同士の会話」「論文指導」を用いた。字数の都合上、コーパスの説明は割愛する。

## 7 コーパスによる調査の結果

### 7.1 あいづちの出現状況

#### 7.1.1 あいづちであるかどうかの判断

堀口純子 (1997) にある「あいづちは、話し手が発話権を行使している間に、聞き手が話し手から送られた情報を共有したことを伝える表現」(p.42) に基づき、採用するデータを判断した。

対象としたコーパスは「IJAS」「名大会話コーパス」「BTSJ] による日本語話し言葉コーパス」の3つである。

#### 7.1.2 結果

判断の結果は以下の通りである。

表2 母語話者の「そうですか」系、「そうなんですか」系応答詞

	名大 コーパス	IJAS	親しい同性友人同士 (男女)の会話	初対面と女性の 友人同士の会話	論文指導	計
「そうですか」系	304	22	171	303	24	824
「そうなんですか」系	170	13	148	235	8	574
計	474	35	319	538	32	1398

以上のデータから不要なものを削除し使用した。

#### 7.1.3 非該当の内訳

本研究ではあいづちとして使われた「そうですか」のみを対象とするため、該当しない応答を削除した。非該当としたものは以下の通りである。

- ・疑問形「そうですか？」
- ・肯定の応答「そう」
- ・「そう」の疑問形「そう？」

- ・疑問形「そうか？」
- ・引用
- ・疑問形「そうなんですか？」
- ・疑問形「そうなの？」
- ・疑問形「そうなん？」

#### 7.1.4 あいづちの出現状況

以上のデータより、今回対象とするあいづちを抽出したものが表3、図1である。

表3 「そうですか」系あいづち「そうなんですか」系あいづちの総出現数

	名大会話 コーパス	IJAS	親しい同性友人同士 (男女)の会話	初対面と女性の 友人同士の雑談	論文指導	計
そうですか系	293	19	141	267	20	740
そうなんですか系	164	12	95	182	7	460

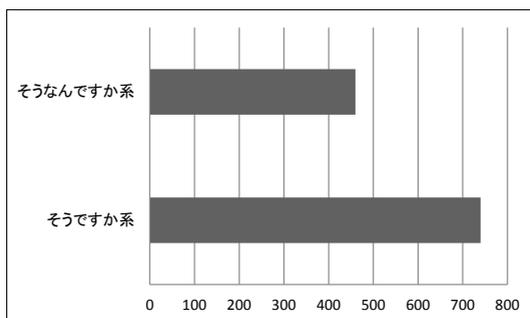


図1 「そうですか」系あいづち「そうなんですか」系あいづちの総出現数

総出現数を比べると「そうですか」系あいづちが740個、「そうなんですか」系あいづちが460個となった。「そうですか」系が「そうなんですか」系の約1.6倍用いられていることがわかった。

敬体、非敬体別にした結果は以下の通りである。

表4 総出現数「そうですか」「そうなんですか」

	名大会話 コーパス	IJAS	親しい同性友人同士 (男女)の会話	初対面と女性の 友人同士の雑談	論文指導	合計
そうですか	293	19	0	42	9	363
そうなんですか	164	12	0	60	5	241

表5 総出現数「そっか」系「そうなんだ」系

	名大会話 コーパス	IJAS	親しい同性友人同士 (男女)の会話	初対面と女性の 友人同士の雑談	論文指導	合計
そっか系	0	0	141	225	11	377
そうなんだ系	0	0	95	122	2	219

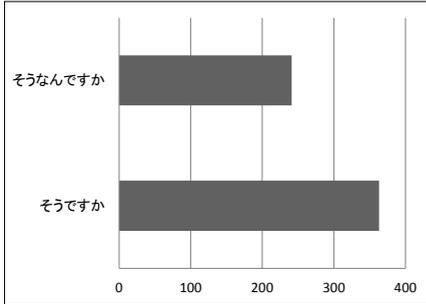


図2 総出現数「そっか系」「そうなんだ系」

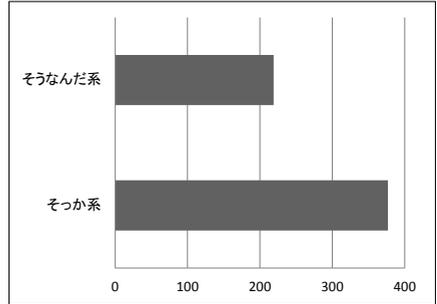


図3 総出現数「そっか系」「そうなんだ系」

上記の結果より、敬体、非敬体に関わらず「そうなんですか」系より「そっか系」が多く使われているという結果となった。

そして「そっか系」系あいつち、「そうなんですか」系あいつちをそれぞれまとめたものが表6、表7である。

表6は「そっか系」系あいつちの出現状況の内訳を示したものである。

表6 「そっか系」系あいつちの出現状況

	名大会話 コーパス		IJAS		親しい同性友人同士 (男女)の会話		初対面と女性の 友人同士の雑談		論文指導		合計
	個数	割合	個数	割合	個数	割合	個数	割合	個数	割合	
そっか系	293	100%	19	100%	0	0%	42	16%	9	45%	363
そっか	—	—	—	—	126	89%	208	78%	2	10%	336
そっか	—	—	—	—	14	10%	17	6%	9	45%	40
そっか	—	—	—	—	1	1%	0	0%	0	0%	1
合計	293	100%	19	100%	141	100%	267	100%	20	100%	740

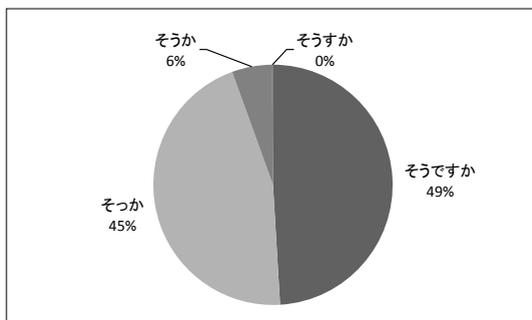


図4 「sou desuka」系あいづちの出現状況

表7は「sou nandesuka」系のあいづちの出現状況を示したものである。

表7 「sou nandesuka」系あいづちの出現状況

	名大会話コーパス		IJAS		親しい同性友人同士(男女)の会話		初対面と女性の友人同士の雑談		論文指導		計
	個数	割合	個数	割合	個数	割合	個数	割合	個数	割合	
sou nandesuka	164	100%	12	100%	0	0%	60	33%	5	71%	241
sou nanda	—	—	—	—	66	69%	97	53%	1	14%	589
sou nanya	—	—	—	—	8	8%	7	4%	0	0%	35
sou nanka	—	—	—	—	1	1%	5	3%	1	14%	7
sou nano	—	—	—	—	10	11%	9	5%	0	0%	20
sou nan	—	—	—	—	9	9%	4	2%	0	0%	39
sou nansuka	—	—	—	—	1	1%	0	0%	0	0%	1
計	164	100%	12	100%	95	100%	182	100%	7	100%	460

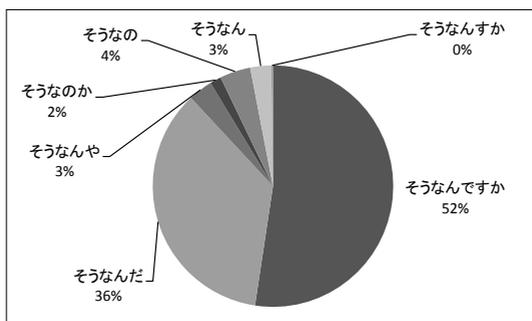


図5 「sou nandesuka」系あいづちの出現状況

上記の結果より、どちらも敬体が全体の約半数の割合で使われていることがわかった。

## 7.2 「あいづちの機能」による分類

機能別に分類することで、それぞれがどのような意味で用いられているか調査するため、堀口（1997）による分類を行った。

### 7.2.1 分類の方法

堀口純子（1997）（pp.42-60）の「あいづちの機能」に基づき、あいづちを分類した。堀口（1997）はあいづちを以下のように分類している。

1. 聞いているという信号  
話し手の話したことを聞いているということを示す信号である。
2. 理解しているという信号  
話し手の話したことを聞いたうえで理解したということを示す信号である。
3. 同意の信号  
話し手の話したことを聞いて理解した上で同意することを示す信号である。
4. 否定の信号  
話し手の話したことを聞いて理解した上で否定することを示す信号である。
5. 感情の表出  
話し手の話したことを受けて、感じた感情を表す信号である。堀口は「話し手は聞き手がただ聞いているだけではなく心理的にもコミュニケーションに参加しているということがわかる」としている。

本稿は基本的に堀口の分類を踏襲する。しかし今回は3の同意の信号、4の否定の信号は出現しなかった。また、今回得られた例には堀口で取り上げられていない「繰り返し」が見つかった。以下に例を示す。

(1) 「そうですか。へえー。あ、そうですか。M だったらなに、なに駅で降りるんですか」  
(名大)

(1) についてははじめの「そうですか」は「理解したという信号」に分類しているが、波線の「そうですか」は繰り返しとした。

本稿では、以下の基準によってあいづちを分類した。これ以降、例文として扱う「BTSJ」による日本語話し言葉コーパス」中の記号は宇佐美まゆみ（2015）による。

1. 聞いているという信号  
(2) C 「ねー、もう、もう目に浮かびます #」  
K 「そうですか #」  
C 「あの、白衣の、姿がねー #」  
K 「そうですか、あ、はい #」  
C 「でも、すごい、あの一番ね、患者さん第一っていう」（IJAS）

ひとつ目の「そうですか」は「聞いているという信号」に、ふたつ目の「そうですか」は「理解したという信号」に分類した。ひとつ目の「そうですか」はCの「ねー、もう、もう目に浮かびます#」に対してのあいづちだが、この時点でKは「何が目に浮かぶのか」は明確には分かっていないと考えられる。そのためCの発話を促すため「聞いているという信号」を発していると考えた。そしてふたつ目の「そうですか」はCの「あの、白衣の、姿がねー#」を受けて「何が目に浮かぶのか」分かったため「理解したという信号」を発しているとした。

## 2. 理解しているという信号

(3) F11「え、甘いのもあんの?。」

F12「甘いのもある=。」

F12「=なんかね、肉とかの味付けて、ものすごい甘いよ。」

F11「〈へー〉 {<|。}

F12「〈ブルコギ〉 }| とかすごい甘いもん。」

F11「そうなんだ。」

F12「うーん。」

F12「あの、ほら、よく日本料理でもさー(うん)、しょうゆと砂糖で煮たっていうの〈あるでしょ?〉 {<|。}(BTSJ「親しい」)

ここでは韓国料理の話をしている。F12が発した「〈ブルコギ〉 }| とかすごい甘いもん。」という発話に対してF11が「そうなんだ」とあいづちを打っている。その結果、F12は「甘い味付けがあるということをF11は理解している」と判断し新たな情報である「あの、ほら、よく日本料理でもさー(うん)、しょうゆと砂糖で煮たっていうの〈あるでしょ?〉 {<|。」という発話がされていると考えた。そのため、「理解しているという信号」に分類した。

## 5. 感情の表出

(4) M09「【】〈で、この前〉 }|、普通の飲み屋で7,500円〈笑い〉。」

M10「あー、2人で?。」

M09「うん〈笑いながら〉。」

M09「あぶねー〈笑いながら〉。」

M10「####とあって、あれだよ [↑] (うん)、大体2,000円だよ、いって。」

M09「〈あ、そうなんや〉 {<|。}(BTSJ「親しい」)

M10の話す情報はM09にとって新しい情報であるため、「驚き」の意味を表しているものと考えられる。こうして感情を表出させることでM10の発話を促していると考えられる。

分類する対象は、「名大会話コーパス」、「I-JAS(多言語母語の日本語学習者横断コーパス)」、「BTSJ日本語話し方コーパス」の「初対面と友人同士の女性の雑談」「親しい同性友人同士の会話」とした。

## 7.2.2 分類の結果

### ①全体

「そうですか」系あいづちと「そうなんですか」系あいづちの全体の分類結果を示したものが表8、それぞれの内訳をグラフにしたものが図6、図7である。

表8 「あいづちの機能」による分類結果 全体

	そうですか系		そうなんですか系	
	個数	割合	個数	割合
聞いているという信号	138	19%	12	3%
理解したという信号	414	58%	138	30%
同意の信号	1	0%	1	0%
否定の信号	0	0%	0	0%
感情の表出	142	20%	287	63%
繰り返し	5	1%	3	1%
不明	12	2%	5	1%
引用	8	1%	7	2%
合計	720	100%	453	100%

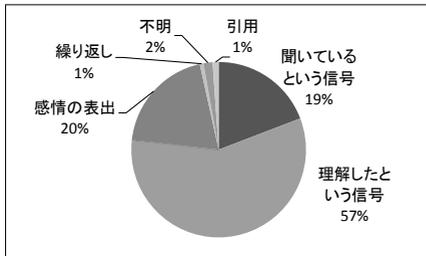


図6 「あいづちの機能」における分類結果 そうですか系

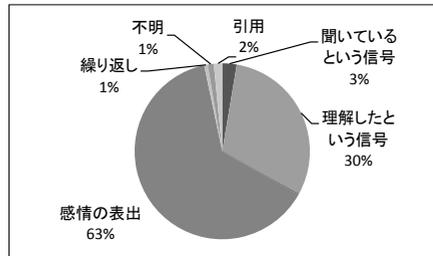


図7 「あいづちの機能」における分類結果 そうなんですか系

「そうですか」系では「理解したという信号」が57%を占め、「そうなんですか」系では「感情の表出」が63%を占めていることから、使われ方に違いがあることが分かる。

②「そうですか」と「そうなんですか」について

②では「そうですか」と「そうなんですか」のみを抽出した結果を取り上げる。

分類結果を示したものが表9、それぞれの内訳をグラフにしたものが図8、図9である。

表9 「あいづちの機能」による分類結果 「そうですか」「そうなんですか」

	そうですか		そうなんですか	
	個数	割合	個数	割合
聞いているという信号	107	30%	8	3%
理解したという信号	209	59%	83	35%
同意の信号	1	0%	0	0%
否定の信号	0	0%	0	0%
感情の表出	20	6%	137	58%
繰り返し	4	1%	3	1%
不明	9	3%	4	2%
引用	4	1%	1	0%
合計	354	100%	236	100%

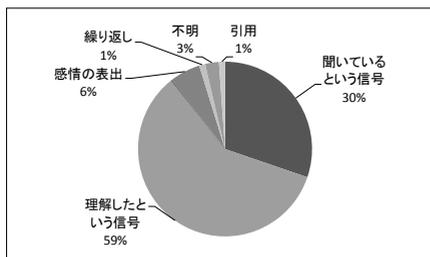


図8 「あいづちの機能」による分類結果 「そうですか」

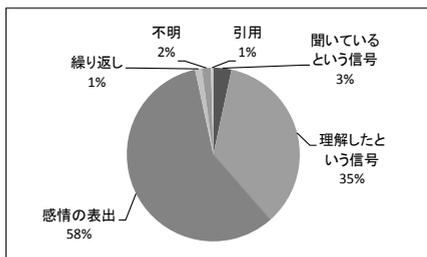


図9 「あいづちの機能」による分類結果 「そうなんですか」

総出現数は「そうですか」が354個、「そうなんですか」が236個であった。

各項目の比率は①とほぼ変わらず、「そうですか」は「聞いているという信号」「理解したという信号」として、「そうなんですか」は「感情の表出」として多く使われている。

「そうですか」における「感情の表出」の比率は14%減っているため、「感情の表出」にはあまり使われないと考えられる。

図8「そうですか」において、図6の「そうですか」系あいづちより「聞いているという信号」が増えている。そのため、「そうですか」は「聞いているという信号」という機能を持って使われていると考えられる。

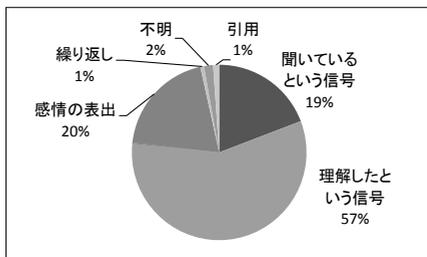


図6 「あいづちの機能」における分類結果 そうですか系

③「そっか」系あいづちと「そうなんだ」系あいづち

続いて、「そっか」系あいづちと「そうなんだ」系あいづちのみの結果を取り上げる。

分類結果を示したものが表10、それぞれの内訳をグラフにしたものが図10、図11である。

表10 「あいづちの機能」による分類結果 「そっか」系「そうなんだ」系

	そっか系		そうなんだ系	
	個数	割合	個数	割合
聞いているという信号	31	8%	4	2%
理解したという信号	205	56%	55	25%
同意の信号	0	0%	1	0%
否定の信号	0	0%	0	0%
感情の表出	122	33%	150	69%
繰り返し	1	0%	0	0%
不明	3	1%	1	0%
引用	4	1%	6	3%
合計	366	100%	217	100%

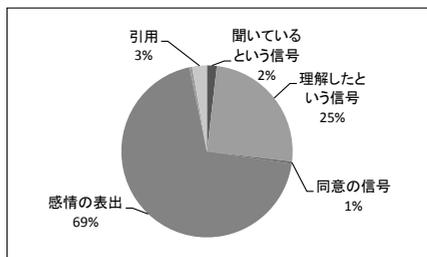
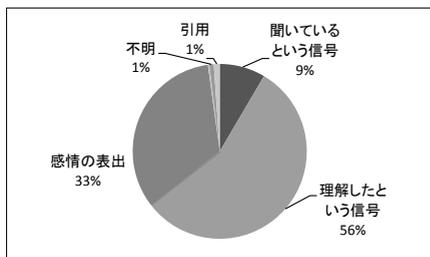


図10 「あいづちの機能」における分類結果 「そっか」系

図11 「あいづちの機能」における分類結果 「そうなんだ」系

総出現数は「そっか」系あいづちが366個、「そうなんだ」系あいづちが217個であった。「そっか」系が「そうなんだ」系の約1.7倍使われていることが読み取れ、①、②の結果に比べて「そっか」系の比率が増えるという結果になった。

項目別では、「そっか」系が「理解したという信号」として、「そうなんだ」系が「感情の表出」として多く使われていた。

「そっか」系あいづちでは、「そうですか」(図8)に比べ「感情の表出」が増加しており、「聞いているという信号」が21%減少している。このことから、「そっか」系あいづちが「感情の表出」の機能を、「そうですか」が「聞いているという信号」の機能を持って使われることが読み取れた。

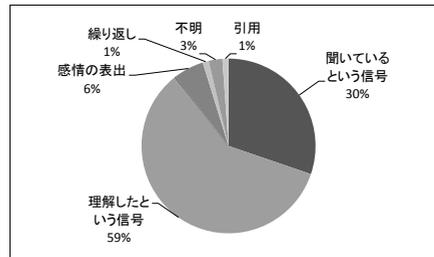


図8 「あいづちの機能」による分類結果「そうですか」

①②③より、以下の4点が得られた。

- ・「そうですか」系あいづちは「理解しているという信号」「聞いているという信号」の機能を持って使われやすい。
- ・「そうなんですか」系あいづちは「感情の表出」の機能を持って使われやすい。
- ・敬体と非敬体を比べると、「そうですか」は「聞いているという信号」の機能を、「そっか」系あいづちは「感情の表出」の機能を持って使われやすい。
- ・「そうなんですか」と「そうなんだ」系あいづちの使われ方に大きな差はなく、双方とも「感情の表出」の機能を持って使われている。

以上より、「あいづちの機能」による分類においては「そうですか」と「そうなんですか」では「理解している・聞いているということを相手に伝える機能」と「自分の感情を相手に表す機能」とで、持つ機能に違いがあることが考察された。

### 7.3 「発話機能の定義と種類」による前文脈の分類

次は、前文脈を分類して、使い方における違いを考察する。ポリー・ザトラウスキー(1993)の「発話機能の定義と種類」を用いて分類を行った。

#### 7.3.1 方法

ポリー・ザトラウスキー(1993)「発話機能の定義と種類」による分類を行った。ザトラウスキーは分類項目について以下のように述べている。以下の例文、例文中の記号はザトラウスキー(1993)に従った。

- ①〈注目要求〉 ザトラウスキーは「呼びかけ」の類」としている。(1A「もしもし。」、19B「あのね?」)のような例をあげている。
- ②〈談話表示〉 「談話の展開そのものに言及する「接続表現」(41B「だから」、56A「それで」)、「メタ言語的発話」(117A「そういうわけで、」)などを含む」としている。
- ③〈情報提供〉 「実質的内容を伝える発話で、客観的事実に関する質問に対する答えも含む」としている。

- ④〈意思表示〉「話し手の感情、意思等を表す」もので、「それらへの質問の答えも含む」ものであるとし、以下のような例をあげている。「83A「ちょっときょうはやめておくわー。」と93B「じゃあ、また今度ー。」という「ジャア、マタ今度誘ウ。」の言いさし・挨拶による発話。」
- ⑤〈同意要求〉「相手の同意を求める発話」であるとし、「「でしょ?」・「よねえ。」・「じゃない?」で終わることが多い」と述べている。
- ⑥〈情報要求〉「情報の提供を求める発話で、「質問」の類が多い」としている。
- ⑦〈共同行為要求〉「「勧誘」等のように、話し手自身も参加する行為への参加を求める発話である」としている。
- ⑧〈単独行為要求〉「話し手が参加しない、聞き手単独の行為を求める発話で、「依頼」・「勧告」・「命令」等がある」としている。
- ⑨⑩〈言い直し要求〉・〈言い直し〉〈言い直し要求〉は「先行する発話がうまく聞き取れなかった場合の発話」であるとしている。
- ⑪〈関係作り・儀礼〉ザトラウスキーは中田(1991a)を用い、「感謝」、「陳謝」、「挨拶」等の良い人間関係を作るものとしている。また、ザトラウスキーは中田(1991a)と同様、次の⑫〈注目表示〉として扱わないとしている。
- ⑫〈注目表示〉ザトラウスキーは国立国語研究所(1987b)による定義の一部を用いて以下のように分類を定めている。
- 相手の発話、相手の存在、その場の状況・事物の存在などを認識したことを表明する。「同意要求」に対する応答…を含む。(国立国語研究所1987b:156)

以上12の項目で分類した。つぎに今回の分類で使用したコーパスから該当したものの例を示す。例文中の下線は「そうですか」系あいづち、波線は「そうなんですか」系あいづちを示す。

- ③〈情報提供〉今回は先述の分類からさらに「事実」「意見」「伝聞」の3つに分類した。
- (5) UF01「常に本読んでます、〈暇な時は〉 {〈〉}。」  
 UF02「〈へー〉 {〈〉}、そうなんですかー。」(「事実」)(BTSJ「初対面」)  
 個人の見解のない「事実」のみを伝える発話であるため「事実」に分類した。
- (6) UF08「免許とっても、そうはならないと思うんですけ〈どー〉 {〈〉}。」  
 UF07「〈あー〉 {〈〉}、そうですかー。」(「意見」)(BTSJ「初対面」)  
 「と思う」という個人の見解を示す語尾が見られたため「意見」に分類した。
- (7) M17「「人名14」さん言ってたけど、歌がうまいから同じ曲でも(〈笑い〉)聴く気が起こるって。」  
 M18「そっか。」(「伝聞」)(BTSJ「親しい」)  
 「「人名14」さん言ってた」などの表現から伝聞であると判断できたため「伝聞」とした。
- ④意思表示

(8) F13 「カラオケ行きてーなー。」

F14 「そっか。」 (BTSJ 「親しい」)

「したい」という表現は話し手の意思を示すため「意思表示」とした。

⑤同意要求

(9) M16 「〈だから〉 {}、あれでしょ、「人名19」でしょ、主査は。」

M15 「主査は=。=あー、そうなんだ。」(BTSJ「親しい」)

M16が「でしょ」という表現を用いているため「同意要求」とした。

⑥情報要求

(10) IF11 「何に使うの?。」

IF12 「ファイルとか、見出しとか。」

IF11 「あー、背表紙とか?。」

IF12 「そっかー。」(BTSJ「初対面」)

IF11の「あー、背表紙とか?。」のような疑問の形をとるものは「情報要求」とした。

⑧単独行為要求

(11) K 「ね#」

C 「そうなんですよー、もうできたらぜひお願いしたいんですけど#」

K 「そうですかー」

C 「ちょっとこの、ね人が少なくなる時期〈うーん〉で、私も最大限〈うん〉お店」  
(IJAS)

Cの「もうできたらぜひお願いしたい」という表現が「依頼」に当てはまるため「単独行為要求」とした。

⑩「言い直し」

(12) M05 「いや、だって、普段でしょ?。」

M06 「あ、普段。」

M06 「うん。」

M05 「だか、〈普段よ〉 {}、。」

M06 「〈あー、そっか〉 {}。」(BTSJ「親しい」)

M05が「だか、〈普段よ〉 {}、。」と「普段」という単語を繰り返し言い直していたため「言い直し」に分類した。

⑪関係づくり・儀礼

(13) UF08 「一応、就職することにはなってるんですけど、あの」

UF07 「あ、もう決まってるんですか?。」

UF08 「あ、はい。」

UF07 「あ、おめでとうございます〈ます〉 {}。」

UF08 「〈あり〉 {} がとうございます〈笑いながら〉。」

UF07 「あそうなんだー。」(BTSJ「初対面」)

UF07「〈あり〉 {} がとうございます」が「感謝」の儀礼であると考え「関係づくり・儀礼」に分類した。

⑫注目表示

(14) F13 「伝達の意味なしって〈感じ〉{<}。」

F14 「〈うーん〉{>}。」

F13 「えー、そうなんだ。」(BTSJ「親しい」)

F14の「〈うーん〉{>}。」が状況を認識したことを示し発話を促していると考え「注目表示」に分類した。

分類する対象は、「I-JAS (多言語母語の日本語学習者横断コーパス)」、「日本語話し方コーパス」の「初対面と友人同士の女性の雑談」「親しい同性友人同士の会話」とした。

### 7.3.2 結果

#### ①全体

「そうですか」系と「そうなんですか」系の全体の分類結果を示したものが表11、それぞれの内訳をグラフにしたものが図12、図13である。

表11 「発話機能分類」による前の文の分類結果 全体

	そうですか系		そうなんですか系	
	個数	割合	個数	割合
意思表示	16	4%	2	1%
関係作り・儀礼	1	0%	2	1%
情報提供（事実）	264	62%	221	76%
情報提供（伝聞）	9	2%	18	6%
情報提供（意見）	45	11%	21	7%
情報要求	3	1%	2	1%
単独行為要求	3	1%	0	0%
談話表示	1	0%	0	0%
注目表示	14	3%	3	1%
同意要求	39	9%	8	3%
言い直し	3	1%	0	0%
不明	23	5%	6	2%
引用	6	1%	6	2%
合計	427	100%	289	100%

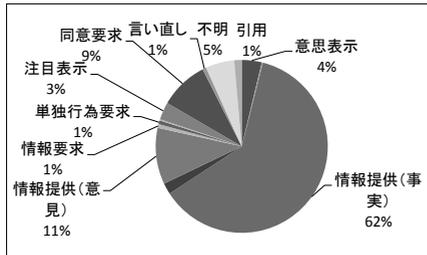


図12 「発話機能分類」による前の文の分類結果「そうですか」系

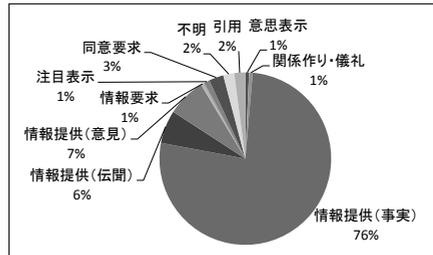


図13 「発話機能分類」による前の文の分類結果「そうなんですか」系

総出現数は「そうですか」系あいづちが427個、「そうなんですか」系あいづちが289個だった。

グラフより、「そうなんですか」系の方が「情報提供（事実）」の後に使われる確率が高いことが分かる。「そうですか」系では「情報提供（意見）」と「同意要求」の後に使われている割合が10%前後あり、2語の違いとして挙げられるのではないか。

②「そうですか」と「そうなんですか」

②では「そうですか」と「そうなんですか」のみの結果を取り上げる。

分類結果を示したものが表12、それぞれの内訳をグラフにしたものが図14、図15である。

表12 「発話機能分類」による前の文の分類結果 「そうですか」「そうなんですか」

	そうですか		そうなんですか	
	個数	割合	個数	割合
意思表示	6	10%	0	0%
関係作り・儀礼	0	0%	1	1%
情報提供（事実）	34	56%	58	81%
情報提供（伝聞）	1	2%	4	6%
情報提供（意見）	8	13%	4	6%
情報要求	0	0%	1	1%
単独行為要求	2	3%	0	0%
談話表示	0	0%	0	0%
注目表示	1	2%	1	1%
同意要求	5	8%	2	3%
言い直し	0	0%	0	0%
不明	2	3%	1	1%
引用	2	3%	0	0%
合計	61	100%	72	100%

総出現数は「そうですか」が61個、「そうなんですか」が72個で「そうなんですか」の方がより多く使われる結果となった。

両者で「情報提供（事実）」以外の比率は①とほぼ変わらず、「そうですか」が「情報提供（意見）」「同意要求」「意思表示」「注目表示」の後に、「そうなんですか」が「情報提供（伝聞）」の後に使われやすいことが読み取れた。

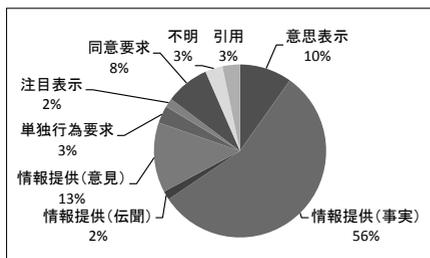


図14 「発話機能分類」による前の文の分類結果「そうですか」

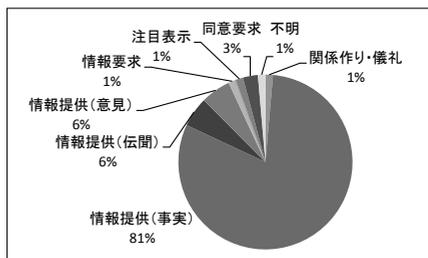


図15 「発話機能分類」による前の文の分類結果「そうなんですか」

あいづち別に見ると、「そうですか」では「情報提供（意見）」「同意要求」「意思表示」がそれぞれ10%前後あった。「そうなんですか」では大体の比率は「そうなんですか」系（図13）の結果と変わらず、「情報提供（事実）」が81%を占めていた。

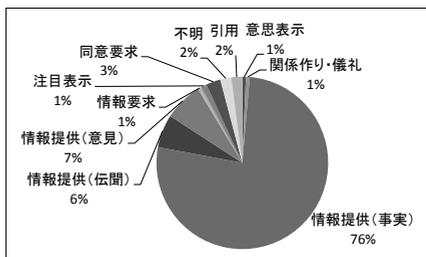


図13 「発話機能分類」による前の文の分類結果「そうなんですか」系

③「そっか」系あいづちと「そうなんだ」系あいづち

③では「そっか」系と「そうなんだ」系のみの結果を取り上げる。

表13は分類結果を示したものである。

表13 「発話機能分類」による前の文の分類結果 「そっか」系「そうなんだ」系

	そっか系		そうなんだ系	
	個数	割合	個数	割合
意思表示	10	3%	2	1%
関係作り・儀礼	1	0%	1	0%
情報提供（事実）	230	63%	163	75%
情報提供（伝聞）	8	2%	14	6%
情報提供（意見）	37	10%	17	8%
情報要求	3	1%	1	0%
単独行為要求	1	0%	0	0%
談話表示	1	0%	0	0%
注目表示	13	4%	2	1%
同意要求	34	9%	6	3%
言い直し	3	1%	0	0%
不明	21	6%	5	2%
引用	4	1%	6	3%
合計	366	100%	217	100%

総出現数は「そっか」系が366個、「そうなんだ」系が217個となった。

表12と比べると「情報提供（事実）」の後は、「そうですか」より「そっか」系の方が多く使われていたため、「情報提供（事実）」の後は「そっか」系の方が使われやすいと考えられる。

それぞれの内訳をグラフにしたものが図16、図17である。

「そっか」系と「そうなんだ」系を比べると、「情報提供（事実）」以外の項目の比率は①、②の結果とほぼ変わらず、「そっか」系の方が「情報提供（意見）」「同意要求」の後に使われやすいことが読み取れた。

表12 「発話機能分類」による前の文の分類結果 「そうですか」「そうなんですか」

	そうですか		そうなんですか	
	個数	割合	個数	割合
意思表示	6	10%	0	0%
関係作り・儀礼	0	0%	1	1%
情報提供（事実）	34	56%	58	81%
情報提供（伝聞）	1	2%	4	6%
情報提供（意見）	8	13%	4	6%
情報要求	0	0%	1	1%
単独行為要求	2	3%	0	0%
談話表示	0	0%	0	0%
注目表示	1	2%	1	1%
同意要求	5	8%	2	3%
言い直し	0	0%	0	0%
不明	2	3%	1	1%
引用	2	3%	0	0%
合計	61	100%	72	100%

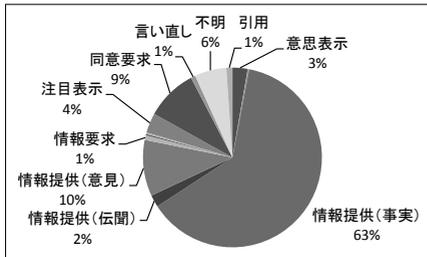


図16 「発話機能分類」による前の文の分類結果「そっか」系

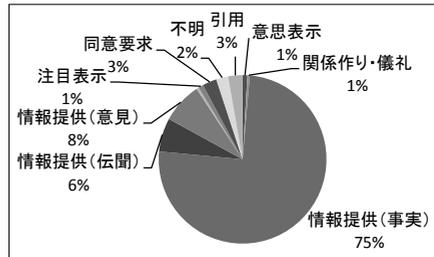


図17 「発話機能分類」による前の文の分類結果「そうなんだ」系

「そっか」系では「意思表示」の割合が減り、図14の結果より図12の結果に近いものとなった。このことから「そうですか」は「意思表示」の後に使われやすいと居えるだろう。

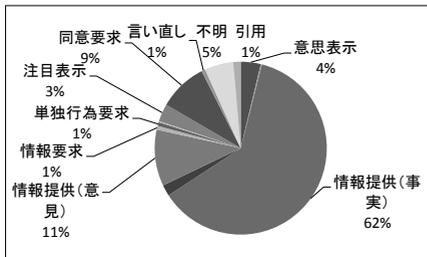


図12 「発話機能分類」による前の文の分類結果「そうですか」系

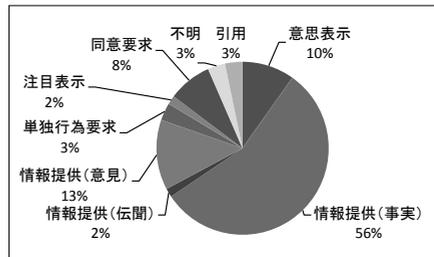


図14 「発話機能分類」による前の文の分類結果「そうですか」系

①②③より「そうですか」系は情報提供(事実) 情報提供(意見) 意思表示、「そうなんですか」系は情報提供(事実) 情報提供(伝聞)と情報提供(意見)の後に使われやすいことが分かった。

以上より、「そうですか」系と「そうなんですか」系は双方とも「情報提供(事実)」の後に使われやすく、特に「そうですか」は「意思表示」、「そうなんですか」は「情報提供(伝聞)」および「情報提供(意見)」の後に使われやすいという違いがあることが考えられた。

## 8 考察

### 8.1 各調査の考察のまとめ

7章までの結果で以下のことが考えられた。

#### ①「あいづちの機能」による分類

「そうですか」と「そうなんですか」では「理解している・聞いているということを話し手に伝える機能」と「自分の感情を話し手に表す機能」とで、持つ機能に違いがある。

#### ②前の文の「発話機能分類」による分類

「そうですか」系あいづちと「そうなんですか」系あいづちは双方とも「情報提供(事実)」の後に使われやすく、特に「そうですか」は「意思表示」、「そうなんですか」は「情報提供

(伝聞)」の後に使われやすいという違いがある。

以上から、「そうですか」は話し手の「意思表示」の後に「理解している・聞いている」ということを表すために使われるが、「そうなんですか」は「情報提供 (伝聞)」の後に「自分の感情」を表すために使われるという違いが考えられた。双方とも「情報提供 (事実)」の後に使われることが多く、話し手の発話を促す機能を持つことは共通している。

## 8.2 「そうなんですか」の文法的機能

ここでは2章の先行研究を踏まえた上で、「のか」疑問文が持つ「①疑問のスコープを広げる用法」による2語の違いについて考察する。

仁田 (2003) は以下のような例文を用いて「①疑問のスコープを広げる用法」を説明している。例文は仁田 (2003) による。

・A「今度友達が遊びに来るんです」

B「へえ、一人で「来るんですか／＊来ますか」？」

・A「今日はお客さんが多いですね。ずっと「混んでるんですか／？混んでますか」？」

B「日曜日は、いつもそうですね」

仁田は「これらの例で、「友達が来る」ことや「(店が) 混んでいる」ことは文脈や状況から明らかであり、その部分が疑問のフォーカスになっているとは考えられない。「一人で」や「ずっと」の部分をスコープに入れるために、「のか」疑問文が用いられている」と述べている。この点を「そうなんですか」で考えると、話し手の発話内容を指す「そう」の部分をスコープに入れていることが考えられる。スコープに入れるということは「前提とする」ということである。つまり「そうなんですか」というあいづちは、話し手の発話内容を前提とした上で、聞き手がその事実を知らなかったということを示すことができるあいづちであると言えるのではないか。

## 9 結論

今回の研究によって「そうですか」と「そうなんですか」の違いは、「そうなんですか」が持つ「のか」にあることが分かった。それは、「のか」疑問文が持つ「既出の話し手の発話内容を、聞き手の発話の前提とする」働きにあると言える。

そして具体的な2語の違いは、「そうですか」が、話し手が「情報提供 (事実)」または「意思表示」の発話をした際に「理解している・聞いているという信号」を示すのに対して、「そうなんですか」は、話し手が「情報提供 (事実)」または「情報提供 (伝聞)」の発話をした際に「感情の表出」の機能を持って使われるという違いである。しかし、互いに共通してその目的は話し手の発話を促すことにあり、使い分けがされていると結論付ける。

## 資料

### 会話

宇佐美まゆみ監修『BTSJによる日本語話し言葉コーパス』(BTS)

国立国語研究所『多言語母語の日本語学習者横断コーパス

(I-JAS: International corpus of Japanese As a Second language)』

国立国語研究所『名大会話コーパス』

### 日本語教科書

株式会社スリーエーネットワーク (2010)

『みんなの日本語初級Ⅰ本冊』『みんなの日本語初級Ⅱ本冊』スリーエーネットワーク

関西外語専門学校(島多麻美・御崎規子・吉川由理子)(2012)『初級日本語 あゆみ vol.1』凡人社

小山悟(2009)『J.Bridge ジェイ・ブリッジ for Beginners Vol.1』凡人社

小山悟(2008)『J.Bridge ジェイ・ブリッジ for Beginners Vol.2』凡人社

坂野永理・大野裕・坂根庸子・品川恭子(2008)『初級日本語げんきⅠ』The Japan Times

沢田幸子・武田みゆき・福家枝里・三輪香織(2007)『日本語 おしゃべりのたね』スリーエーネットワーク

西口光一(2015)『NEJ: A New Approach to Elementary Japanese—テーマで学ぶ基礎日本語— [vol.1]』

『NEJ: A New Approach to Elementary Japanese—テーマで学ぶ基礎日本語— [vol.2]』くろしお出版

文化日本語専門学校 日本語科(2013)

『文化初級日本語Ⅰ テキスト 改訂版』『文化初級日本語Ⅱ テキスト 改訂版』凡人社

山崎佳子・石井怜子・佐々木薫・高橋美和子・町田恵子(2012)

『日本語初級Ⅰ大地メインテキスト』『日本語初級Ⅱ大地メインテキスト』スリーエーネットワーク

## 参考文献

庵功雄(2012)『新しい日本語学入門』スリーエーネットワーク

泉子・K・メイナード(2002)

『柴谷方良・西光義弘・影山太郎編集 日英語対照研究シリーズ(2) 会話分析』くろしお出版

宇佐美まゆみ(2015)

『改訂版: 基本的な文字化の原則 (BTSJBasic Transcription System for Japanese) 2015年改訂版』

三枝令子(2011)

『話し言葉における文末「の」の機能』『日本語/日本語教育研究 [2] 2011』pp.221-234

日本語記述文法研究会(2003)『現代日本語文法4 第8章モダリティ』くろしお出版

野田春美(1997)『日本語研究叢書9 「の(だ)」の機能』くろしお出版

堀口純子(1997)『日本語教育と会話分析』くろしお出版

ポリー・ザトラウスキー(1993)・『日本語の談話の構造分析: 勧誘のストラテジーの考察』くろしお出版